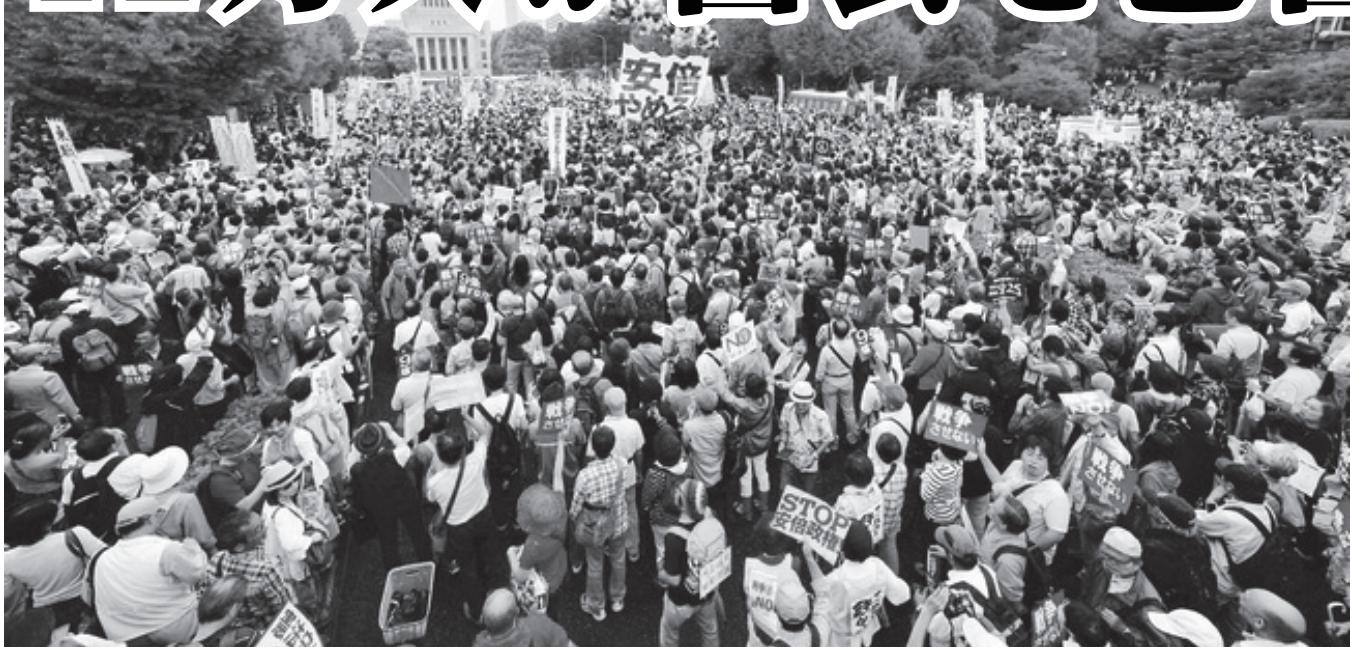


ストップ！戦争法案 安保法制 12万人が国会を包囲



違憲立法・戦争法案の廃案と安倍政権の退陣を迫る全国大行動が8月30日に行われ、国会周辺には12万人が参加しました。(『しんぶん赤旗』より)

憲法9条に違反し、日本を「海外で戦争する国」にする戦争法案（安保法制）。「廃案に追い込み、止めよう」の世論と運動が、若者や子育てママ、弁護士、労働者などに大きく広がり、安倍政権を追い詰めています。

8月30日(日)には、国会周辺に12万人、

全国1千力所以上に数十万人が立ち上がり、戦争法案の廃案と、戦後最悪の安倍政権の退陣を迫りました。

「戦争法案反対」の世論と運動を、さらに広げ、参議院での強行採決も衆議院での再議決もできなくして屏案に追い込みましょう。

「戦争法案反対」の声、大きく広がる

政府の説明は絵空事
俳優 市原悦子さん
「法案審議で政府が『心配
ない』と言うことがいかに
絵空事か。」「今声を上げな
ければ」という思いが広がつ
ていけば、法案は止められ
ます」(『しんぶん赤旗日曜版』より)

音楽家 坂本龍一さん
「シールズの若者たち、女性たちが発言しているのを見て、日本にもまだ希望があると思つてているところであります。」「一過性のものにしないで、行動を続けてほしい。僕も皆さんと一緒に行動していくます。」(国会正門前でのスピーチから)

政治が「アビアビ」

「シールズの若者たち、女性たちが発言しているのを見て、日本にもまだ希望があると思っているところです。」「一過性のものにしないで、行動を続けてほしい。僕も皆さんと一緒に行動していきます。」（国会正門前でのスピーチから）

「（安倍首相は）国民のためには何もやらず、戦争法案とか原発再稼働とかやっちゃいけないことばかりやる」「国會に12万人も集まつたのは、この『アベコベ』政治にみんな気がついてきたからです。」

(『しんぶん赤旗日曜版』より)

戦争法案一安倍政権の説明デタラメ・答弁破たん

戦争法案の国会審議が進めば進ほど安倍政権は行き詰まり、まともな答弁ができなくなっています。ここまでボロボロになり、国民に説明できない法案は廃案にするしかありません。

① 立法根拠は総崩れ

昨年7月、安倍首相は、集団的自衛権行使の具体例として、「海外で突然紛争が発生し、そこから逃げようとする日本人を輸送する米艦船を自衛隊は守れない。それでいいのか」と発言。

ところが今年8月の質疑で、防衛大臣は「邦人が乗っているかどうかは絶対的な条件ではない」と答弁、昨年の首相会見がデタラメだったことが明らかに。政府がもう一つの具体例として持ちだした「ホルムズ海峡での機雷掃海」。イラン政府が「まったく根拠がない」と言明したため言えなくなりました。安倍政権が立法根拠をごまかすのは、集団的自衛権の行使を政府の考え方一つで決めるという、戦争法案の危険な正体を隠すためです。



京都弁護士会主催で8月29日に円山公園で行われた戦争法案廃案を求める緊急府民集会に4500人が参加しました。
（『しんぶん赤旗』より）

② 核兵器も運搬可能

米軍主導の戦争に自衛隊が参戦し、補給や輸送などの兵たん活動で行う武器・弾薬の輸送に、「歯止め」が今回の法案には全くありません。防衛大臣は、米軍の劣化ウラン弾や毒ガス兵器、さらに核兵器の運搬も「法文上は排除していない」と答弁。衝撃を与えました。

憲法9条のもとで、こんなことが許されるはずがありません。

③ 米軍指揮下で自衛隊が暴走

日本共産党の仁比参院議員が暴露した新たな自衛隊内部文書。自衛隊トップの統合幕僚長が昨年12月に訪米した際の、米軍幹部との会談を記録したものです。幕僚長は、戦争法案を「来年夏までに成立する」と約束。辺野古新基地建設を「強力に推進する」と表明していました。

これを首相、防衛相が知っていたなら、政府ぐるみで国会をあざむき、米軍と約束をしていたことになります。知らなかつたら自衛隊の暴走となり、どちらにせよ大問題です。

憲法9条生かした平和の外交戦略を

「北東アジア平和協力構想」を提唱

日本共産党

日本共産党は、紛争を話し合いで解決する平和の枠組みを提唱し、実現へ力を尽くします。

日本共産党
「北東アジア
平和協力構
想」（概略）

- 北東アジア規模の「友好協力条約」で、紛争を話しあいで解決するルールをつくる。
- 北朝鮮問題を「6カ国協議」で解決し、地域の平和と安定の枠組みに発展させる。
- 領土問題の外交的解決をめざし、紛争をエスカレートさせない「行動規範」をむすぶ。
- 日本が過去におこなった侵略戦争と植民地支配の反省は、不可欠の前提となる。